

少人数級

国民健康保険

障害者療

乳幼児医療

台風被災者生活支援

財政難を理由に

無駄づかい(5年間で35億円)

チボリへの「税金投入は続ける」一方で 県民の願いには「ゼロ回答」

県民に冷たい石井県政の実態が浮き彫りに

森脇ひさき、赤坂てる子県議が一般質問

九月県議会は、六日に開会し、二十九日まで二十四日間開かれました。日本共産党県議団は、森脇ひさき県議と赤坂てる子県議が一般質問に立ち、武田英夫県議が討論に立ちました。詳細は、ホームページをご覧ください。

森脇ひさき県議の質問項目

- ①義務教育費国庫負担金の削減について
- ②第3次行財政改革について
- ③県立内尾センター廃止検討
- ④地方振興局再編
- ⑤高齢者・障害者の福祉施策について
- ⑥介護保険
- ⑦県精神保健福祉審議会委員(当事者)を
- ⑧JR各駅の障害者への安全対策
- ⑨看護師学校養成所二年課程(通信制)の設置を
- ⑩足守川のバイパスイン化事業について
- ⑪夜の商店街での駐車違反について

赤坂てる子県議の質問項目

- ①台風による被災者支援と災害対策について
- ②コンビニート災害対策について
- ③単県医療費補助制度について
- ④岡山市・倉敷市への医療費補助率削減問題
- ⑤重度心身障害者医療費公費負担制度
- ⑥「市町村国保会計」への県費助成
- ⑦子どもと教育について
- ⑧チボリへの税金投入はやめよ
- ⑨倉敷駅周辺鉄道高架事業について
- ⑩県の図書館振興計画の策定を

台風被災者生活支援

県の支援策の拡充を要求
赤坂県議は、「最初の案には、『10万円の給付は高潮によって住宅が浸水した世帯』と書いてあったものが、翌日発表で『床上』限定と変わった。訂正をしたのは知事と聞いた。『床下も対象とし、所得制限をなくし、支援の増額をおこなうこと』と追求。石井知事は、『最初から『床上』と指示していたのに、事務方がミスをした』と答弁。床下を対象とすることや支援の増額については、『検討』の言葉さえありませんでした。」

福井県と岡山県の支援策の比較

	福井県	岡山県
緊急被災者支援金(見舞金)	床上:10万円 床下:2万円	なし
生活再建支援給付金補助	床上:上限50万円	同:上限10万円

乳幼児医療費

岡山・倉敷に対する県の補助率削減をやめよと要求
赤坂県議は、「岡山市、倉敷市への乳幼児医療費の補助率を全国なみにゆにもどせ」と追求。保健福祉部長は、「県の財政状況を勘案すると、現時点で直ちに御要望に応えることは厳しい状況にある」と答弁。

障害者医療費

在宅酸素療法患者を救済するよう要求
赤坂県議は、「在宅酸素療法法の患者を救済するために対象を障害三級までひろげる『改善を一刻も早く』と追求。保健福祉部長は、『厳しい財政状況の中では、対象範囲の拡大は困難である』と答弁。

国民健康保険

市町村に対する支援を増やせと要求
赤坂県議は、「市町村の国保会計を支援するために、『県費の補助率アップを』と要求。保健福祉部長は、『補助率の引上げ等の対応は困難である』と答弁。

少人数級

三十人学級を国に求めるよう要求
赤坂県議は、「県として国に対して少人数学級編制の実施を要望することを求めます」

チボリ 無駄な税金投入をやめよと要求

赤坂県議は、「中期計画の破綻が明らかであり、これ以上の税金投入を中止すべき。『チボリ社と県の土地建物の使用貸借契約期間は十年であり、二年九ヶ月後の契約の更新の際には継続はやめるべき』と追求。石井知事は、『現在取り組んでいる経営改善計画等に沿った支援が必要である』として、県民の税金の無駄づかいである五年間で三十五億円もの支援を『見直す』意思が全くないことを表明しました。

チボリ・ジャパン社の年間売上高推移

年度	売上高
H9年度	126億円
H10年度	117億円
H11年度	89億円
H12年度	65億円
H13年度	44億円
H14年度	39億円
H15年度	36億円

義務教育費国庫負担金削減

削減案をとりまとめた石井知事の責任は重大
森脇県議は、今回(中学校分)の削減で「岡山県でどれだけの減収になるのか」と質問。石井知事は、『六十五億円程度の減収になるともいわれている』としながら『文部科学省の試算は地方交付税の措置を無視したもの』などと答弁。『三位一体改革』は国庫補助や地方交付税を削減しようとして打ち出したものであり、財源措置の保障は全くありません。石井知事の責任は極めて重大です。

いのち・くらし・へいわ輝く県政を



平井昭夫 (日本共産党推薦)

県知事選挙は、10月7日告示、24日投票でたたかわれます。日本共産党も加わる「あたたかい民主県政をつくるみんなの会(みんなの会)」は、岡山県社会保障推進協議会の前事務局長の平井昭夫氏を擁立し、県民の願いに応えるあたたかい県政をめざし奮闘しています。

県民と日本共産党の共同で、新しい県政の流れを

「チボリ」からの撤退を求める「陳情は採択を

武田英夫県議が討論



容は被災者の実情から見ても、他県の被災者支援の水準から見ても不十分なものと指摘せざるをえない」と指摘したうえで、賛成を表明しました。

沖繩の米軍ヘリコプター墜落事件に関する二つの陳情について、武田県議は、「被災の現実と巨大な沖繩の米軍基地への住民の不安、墜落の原因さえ独自に調査できない治外法権的な沖繩の現状など少し考える気持ちさえあれば、この二つの陳情を採択し、県議会とし

武田県議はまず、平成16年度補正予算について、「台

て意思を表明するのは当然だと考えます」と、今議会での採択を主張しました。

「チボリからの撤退を求めることについて」の陳情についても、「知事は『経営が改善されている』と答弁したが、外部監査が重視しているのは『入り込み客数』のこと。その減少は『破綻状態』を示している」と指摘、少なくとも税金投入を中止するようを求め、採択を主張しました。

「義務教育費国庫負担制度の堅持について」の陳情についても、義務教育費国庫負担金の削減は「改革」の名で義務教育の意義を台無しにする危険な議論であり、県議会のこれまでの決議でも堅持することを求めてきており、採択するよう求めました。

主な議案と請願・陳情の結果

【請願・陳情】	共産	自民	民・県公	無	結果
普天間基地における軍用機飛行の即時停止を求めることについて (とめよう戦争への道百万人署名運動岡山県連絡会)	○	×	× 3名は0	×	×
「チボリ」からの撤退を求めることについて (「チボリ」に反対する県民の会)	○	×	×	×	×
国へ義務教育費国庫負担制度を堅持する旨の意見書提出について (新日本婦人の会岡山県本部)	○	△	○	△	△

* ○採択、×不採択、△継続

9月定例県議会には、平成16年度一般会計補正予算をはじめ18の議案が提出されました。県民の利益に根本から反するものはないため、日本共産党はその全てに賛成しました。

台風16・18号被災者支援に全力

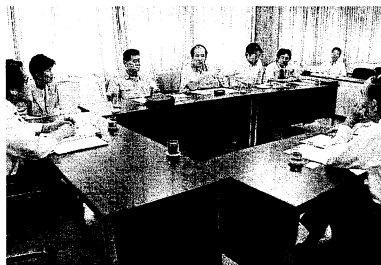
県知事に対し二度の申し入れ

日本共産党県議団は、被災状況の調査と被災者の声(要求)の聞きとりに直ちに取り組み、二度にわたって県知事に申し入れを行いました。一回目は九月一日に県の担当課に対し口頭で緊急の申し入れ、二回目は七日に中林よし子前衆院議員や被災地域の市議らとともに文書を提出しおこないました。また、九月三日に

は岡山県商工団体連合会(民商)、十七日には県農民連の代表が県に対し申し入れをおこなうのに立ち会いました。今後さらに、地方振興局に対する申し入れや国への働きかけを強めることにしています。



児島唐琴の被災者に話を聞く赤坂県議ら



県に申し入れる被災業者、民主商工会の代表ら



県に対し被災者支援を申し入れる県議団他(9月7日)

被災者支援と今後の災害対策に関する申し入れ(要旨)

9月7日

- 今後の災害防止のための緊急な手立て(次の台風接近に対して)
 - ▼危険個所の緊急な復旧、▼災害ゴミが次の台風で散乱しないよう手立て、▼事前情報の徹底や避難勧告の迅速化、▼苦情が殺到しているホームページの早急な改善、▼高齢者、障害者の避難サポート体制
- 被災者生活支援制度の創設
 - ▼高齢者、障害者への保健所の訪問活動や入浴サービス、メンタルな支援、▼県営住宅の緊急確保(雇用促進住宅の確保も含めて)、▼被災直後の緊急生活支援金制度、▼被災後の住宅改築、補修などへの支援
- 商工業者、農林水産業者の経営支援
 - ▼商工業者への緊急小口融資制度(50万円程度)の創設、▼農林関係の被災状況の正確な把握と支援、▼海苔業者への対策
- 甚大な高潮被害の原因究明と根本的な高潮対策(岡山市)
 - ▼宮浦や阿津などのマリナー対策、▼久々井の堤防(旧塩田跡)の堤防個所の根本的な対策、など(倉敷市) ▼児島通生の堤防の改修、▼コンビナートの高潮被害対策、など(笠岡市) ▼旧金浦港の防潮堤の一部かさ上げ、▼西大島海岸線の排水ポンプの停電の際の対策、など

森脇県議に岡山県警答弁

岡山県警本部は十五日、岡山市や倉敷市の商店街での迷惑駐車問題を解決するため、駐車禁止区域に指定し、指導と取り締まりを実施することを明らかにしました。日本共産党の森脇久紀県議の質問に答えたものです。

車両進入禁止になってい

迷惑駐車解決へ

商店街

10年来の要望実った

る岡山市の表町商店街や倉敷市のえびす通り商店街では、夜間に進入した車の路上駐車があとをたたく、困っている住民から苦情が上がっていました。

この問題は表町商店街の住民が十年前から岡山東警察署や県警に要望してきたことで、「やっと解決できた」と歓迎の声が上がっています。

2004年10~12月の議会日程(予定)

委員会の積極的な視聴を

10月6日(水)	決算特別委員会	10時30分~	森脇	11月25日(木)	環境対策・食の安全特別委員会	13時~	
10月15日(水)	各常任委員会	13時~	全員		青少年対策・男女共同参画特別委員会	10時30分~	赤坂
10月25日(月)	各常任委員会	10時30分~	全員		行政改革・国体等特別委員会	10時30分~	武田
11月9日(火)	決算特別委員会	10時30分~	森脇	11月26日(金)	議会運営委員会	10時30分~	武田
11月12日(金)	決算特別委員会	10時30分~	森脇	12月16日(木)	決算特別委員会	10時30分~	森脇
11月15日(月)	各常任委員会	10時30分~	全員		地域振興特別委員会	13時~	
11月19日(金)	各常任委員会	10時30分~	全員		環境対策・食の安全特別委員会	13時~	
	決算特別委員会	13時~	森脇		青少年対策・男女共同参画特別委員会	10時30分~	赤坂
11月24日(水)	各常任委員会	10時30分~	全員		行政改革・国体等特別委員会	10時30分~	武田
	決算特別委員会	13時~	森脇	12月17日(金)	各常任委員会	10時30分~	全員
11月25日(木)	決算特別委員会	10時30分~	森脇	12月21日(火)	議会運営委員会	10時30分~	武田
	地域振興特別委員会	13時~					

12月定例県議会は、12月3日開会、22日閉会の予定。代表質問は7・8日、一般質問は10・14・15日の予定。日本共産党からは、赤坂てる子県議が一般質問、森脇ひさき県議が討論に立つ予定です。